



第3回

気候変動を考慮した愛媛県沿岸の 海岸保全施設の計画外力検討専門部会

—今後の予定—

日時： 令和5年11月30日 13:30~15:30

場所： 愛媛県庁第1別館5階第13会議室

今後の予定(専門部会)

第3回 海岸保全施設の計画外力検討専門部会

2023年11月30日(本専門部会)

- 気候変動を考慮した高潮推算(再整理)
 - ・平均海面水位の上昇量の整理
 - ・朔望平均満潮位H.W.L.の整理
 - ・潮位偏差の将来変化比の算出
- 気候変動を考慮した波浪推算
 - ・現在気候で650ケース、将来気候で390ケースの擾乱を選定
 - ・波浪推算モデル(WAVEWATCH III)を用いて波浪推算を実施し、確率波高の算定
 - ・確率波高の将来変化比の算出
- 設計外力の整理
 - ・現在の防護基準における潮位偏差に将来変化比を乗じて、将来の設計高潮位算定
 - ・現在の防護基準における設計波高に将来変化比を乗じて、将来の設計波高算定

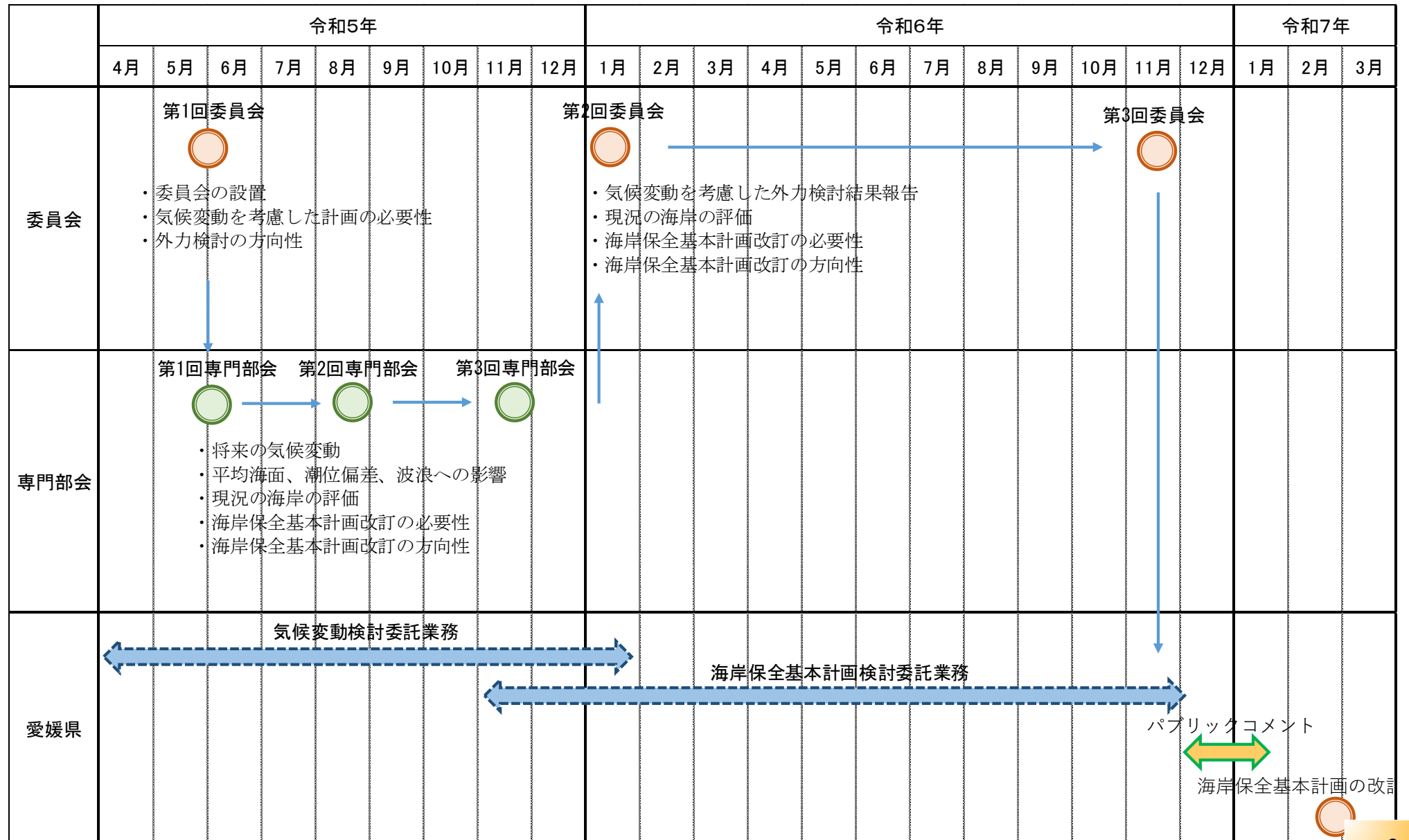


第2回 本委員会にフィードバック

2024年1月開催予定

- 将来の設計高潮位の算出方法
- 将来の設計波高の算出方法
- これらの外力の計画への反映方針

今後の予定(本委員会との関係)



今後の予定(委員会～改訂に向けて)

➤ 気候変動を考慮した外力検討結果報告

➤ 現況の海岸の評価

気候変動後の外力(潮位や波浪)が<防護面・環境面・利用面>に与える影響を想定し評価する。

➤ 海岸保全基本計画改定の必要性

あらたな要素が追加。

(気候変動後の外力が海岸の<防護面・環境面・利用面>与える影響に対応する海岸保全の方針)

➤ 海岸保全基本計画改定の方向性

- ・防護水準を設定
- ・背後地域、周辺環境、施設利用等計画に必要な要素・条件を整理
- ・整備方法、優先順位を設定

➤ 海岸保全施設に与える影響への対応策のイメージ

- ・ハード整備には時間とお金がかかる。
- ・施設の重要度(背後地域の土地利用、人口等の状況)、緊急性(既存施設とあらたに必要となる施設高さとの差、老朽度)などから施設整備に優先度を付ける。
- ・施設の機能が不足する期間、箇所はソフト対策(高潮予測、浸水想定、リスクに応じた土地利用規制等)で補う。
- ・段階的な整備手法を取り入れる。
- ・将来の外力には不確実な要素が多いため、一定のモニタリング期間を設定するなど順応的で、柔軟に対応する。

こうした検討を行っていく

今後の予定(委員会～改訂に向けて)

【海岸防護に関する各種の取組み】

対策によって効果発現までの時間には差がある

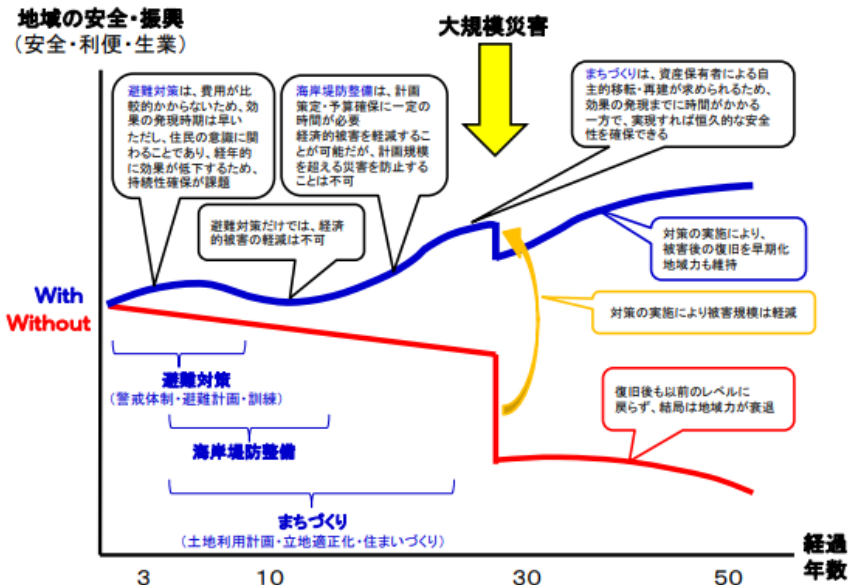


図 4.2 対策の実現・完了による効果の発現までの時間差のイメージ
津波に対する海岸保全施設整備計画のための技術ガイドライン

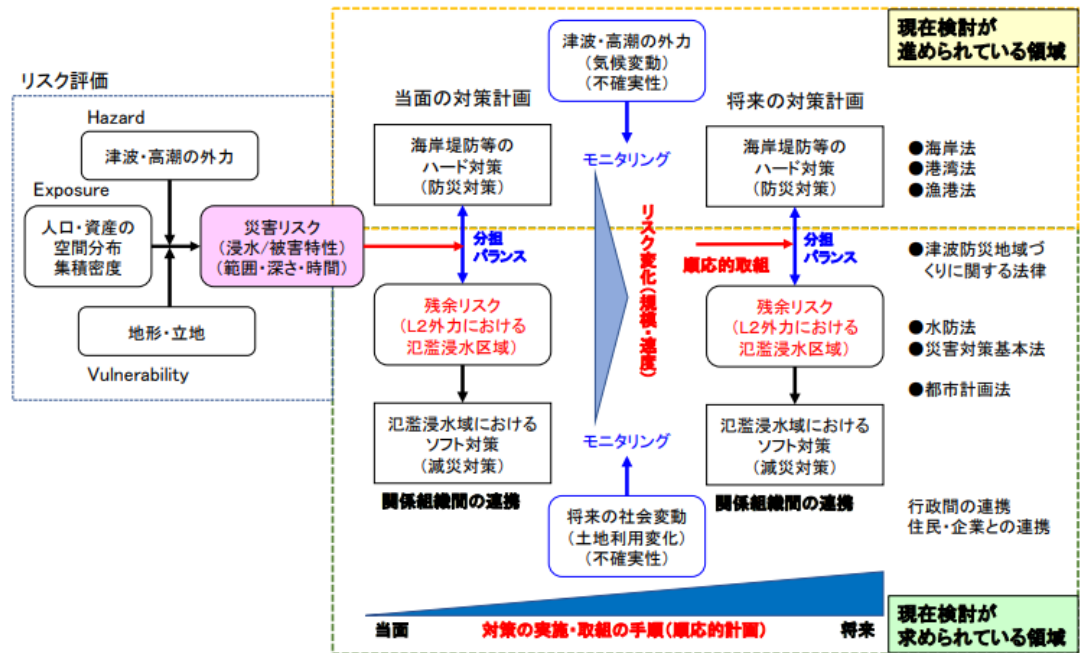


図 7 ハード・ソフトが一体となった順応的な取組の枠組み

南海トラフ地震や気候変動を踏まえた津波・高潮の防災・減災対策の取組みに関する一考
((一社)国土技術研究センター REPORT 河川政策グループ岡安哲也)

今後の予定(委員会～改訂に向けて)

【ハード対策の例】



北山崎海岸(伊予市)高潮対策事業

【ソフト対策の例】

地域のハザードマップを閲覧する

わがまちハザードマップ

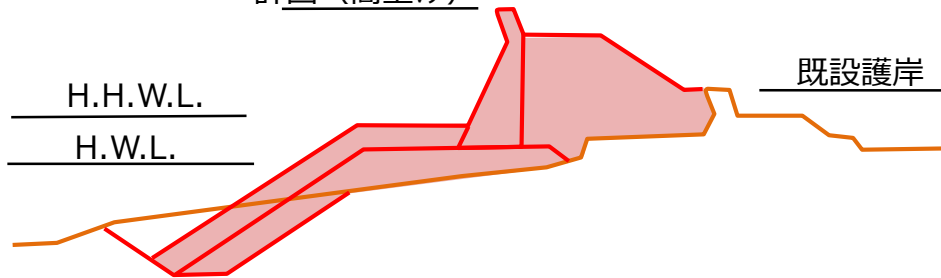
市町村が法令に基づき作成・公開したハザードマップへリンクします。



都道府県

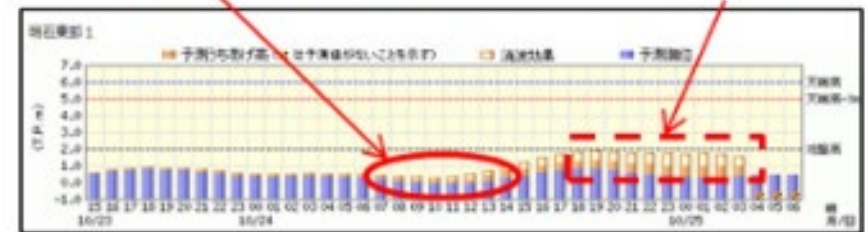
ハザードマップポータルサイト(国土交通省)

計画(嵩上げ)



高潮対策事業の断面図

予測うちあげ高(潮位+波のうちあげ) くりぬきは消波効果



うちあげ高予測表示例

国土技術政策総合研究所